

滋賀県農業水利施設アセットマネジメントの推進

1.現状

- 本県の農村地域には、基幹水利施設として農業用ダムや揚排水機場などが125箇所、末端水利施設を含めた農業用の用排水路にあっては、総延長で約13,000kmにも及ぶ膨大な水路が張りめぐらされていますが、施設の多くは、整備後30年以上が経過するなど、年々老朽化が進行しています。
- また、農業者の減少・高齢化、農村の混住化が進行し、土地改良区や農業者の共同作業が支えてきた水利施設等の維持管理体制が脆弱化しています。
- こうしたことから、農業水利施設の適切な保全と計画的な更新を行い、あわせて地域ぐるみの協働活動を推進するなどにより、本県の農業生産に不可欠な社会資本である農業水利施設を保全する対策が必要です。

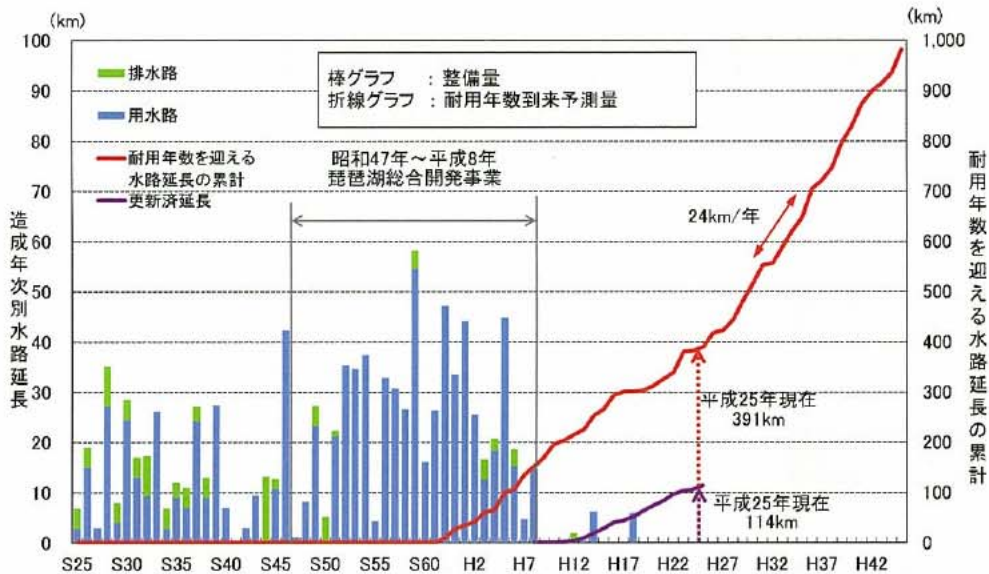


図:幹線的な水路の整備延長と標準的な耐用年数が到来する延長の推移(県全域)



種別	用水路		排水路
	開水路	管水路	
基幹水路※1	309km	620km	95km
末端水路	4,460km	1,680km	5,810km
計	約13,000km		
基幹施設	約125ヶ所 (ダム、頭首工、用排水機場等)※2		

※1:国営および県営造成施設で受益面積100ha以上の水路
(ただし県営かんがい排水事業で造成された施設は、20ha以上)

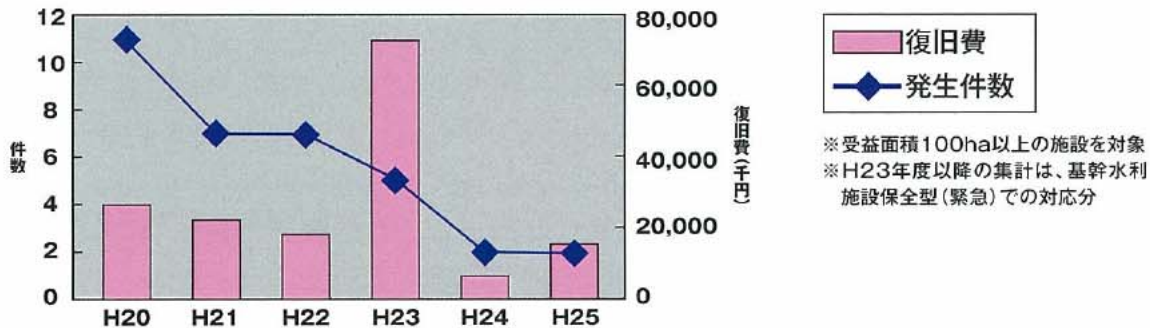
※2:受益面積が100ha以上の施設

◆突発事故の発生状況

【基幹水利施設における突発事故等の発生状況】

件、千円

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
発生件数	11	7	7	5	2	2
復旧費	26,642	19,141	16,172	71,166	4,962	16,192



2. 農業水利施設の保全更新の考え方

- 農業水利施設は、農業の営みだけでなく県土や環境を保全するといった公益的な役割も担っており、これらの施設を社会資本として捉え、効率的・効果的な保全更新を図る必要があると考えています。
- そこで、県、市町、土地改良区、農業者、地域住民が情報を共有し、それぞれの役割分担のもと緊密に連携をしながら、次の3つを基本方針とした滋賀県独自のアセットマネジメントとして推進します。

推進方針①

アセットマネジメント手法により効率的で効果的な保全・更新対策を推進します。

推進方針②

琵琶湖等の環境保全に配慮した節水型・循環型の対策や生物多様性等に配慮した対策を推進します。

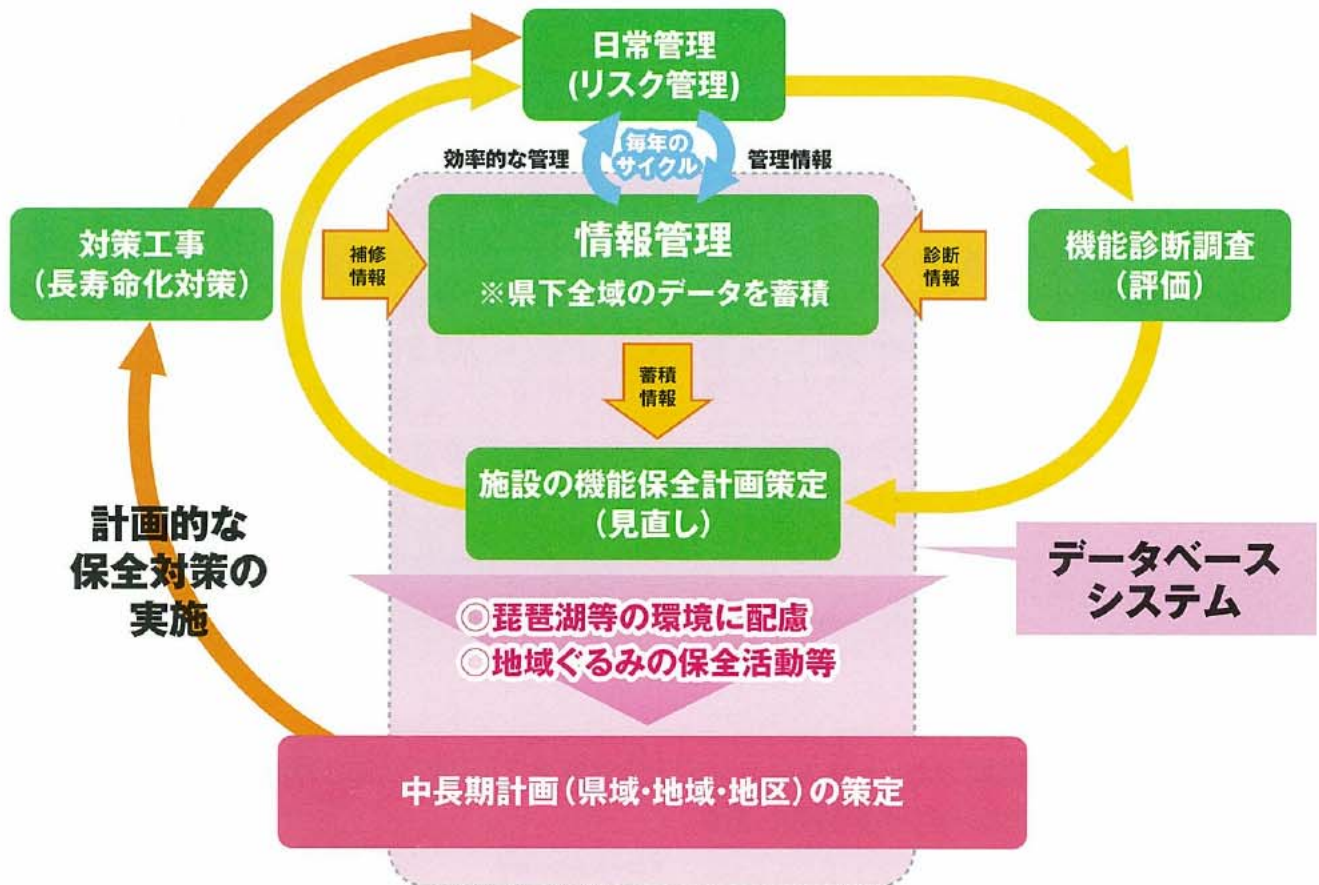
推進方針③

施設の多面的機能が一層発揮できるよう、施設管理の体制整備や地域ぐるみの保全活動を推進します。

農業水利施設のアセットマネジメントへの取り組み

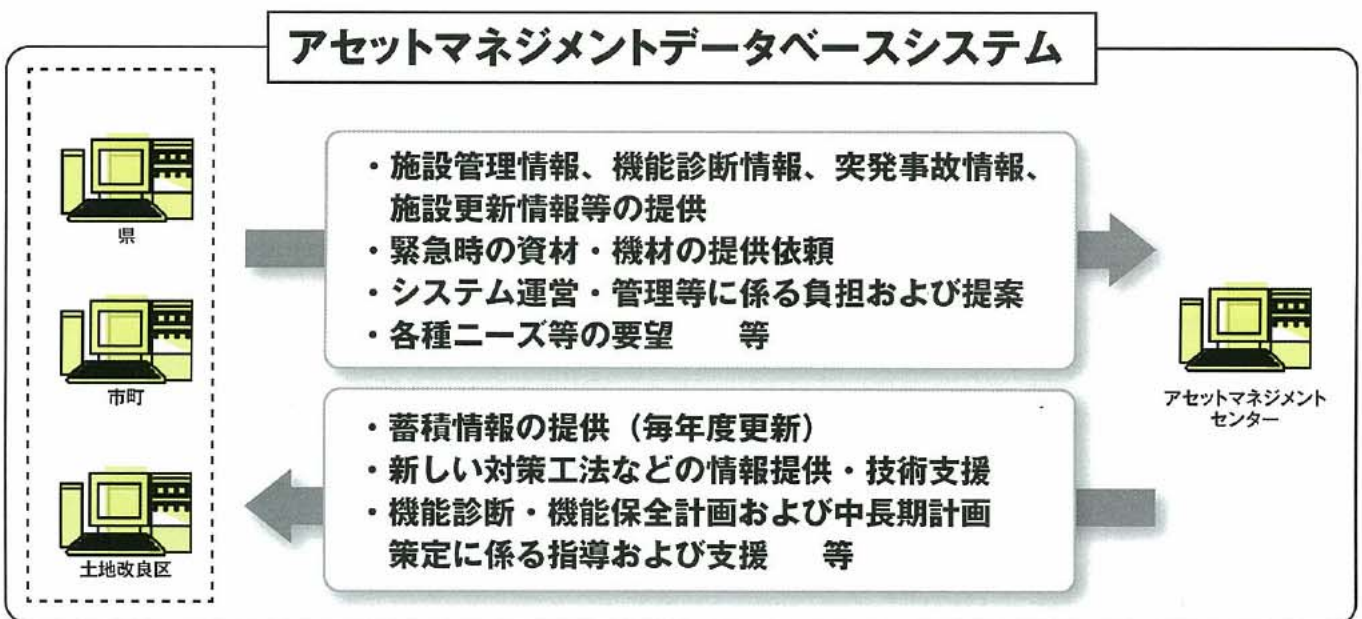
- 施設の健全度や重要度を考慮した効果的な点検・調査を実施
- 安全性や施設の機能を保全するための適切な監視・維持補修などの日常管理の実施
- 調査・診断結果から事前に劣化を予測し、施設が機能不全に陥る前に、計画的に予防的な補修・補強を実施
- 琵琶湖等の環境保全に貢献しつつ、持続的な施設の機能保全と多面的機能の発揮に向けた取り組みの実施

3.アセットマネジメントの流れ



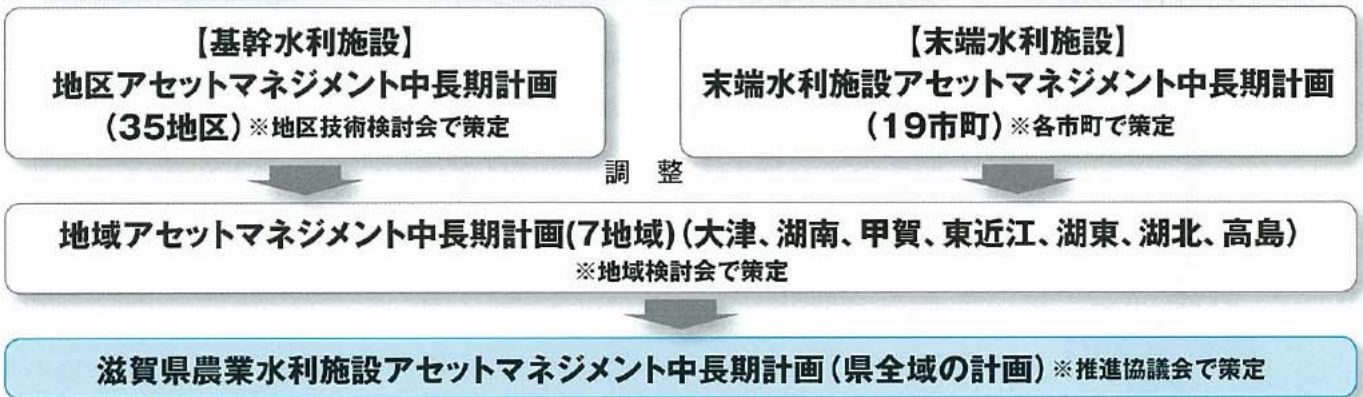
4.アセットマネジメントデータベース

- データベースシステムを活用し、各種データを蓄積します。
- 情報を共有することで、関係者間での共通理解と協働によるアセットマネジメントを推進します。



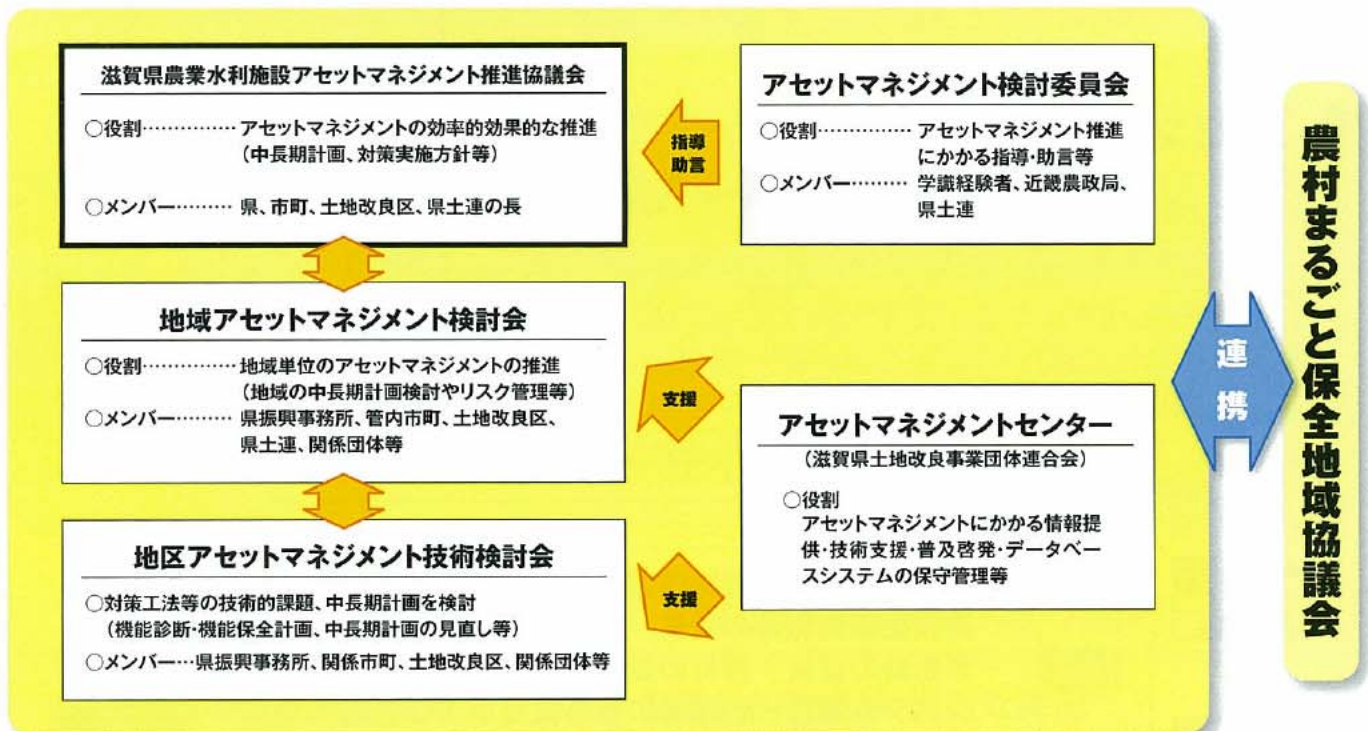
5. 中長期計画の策定について

- 各施設の健全度や重要度に着目したリスク管理を行いつつ、施設のライフサイクルコストを低減し、施設機能の監視・診断・補修・更新を機動的かつ効率的に行う「新しい戦略的な保安全管理対策」を目指す今後10年間の実施計画として策定。
- 中長期計画の実現に向け、関係者が協働でアセットマネジメントに取り組みます。



6. 推進体制

「滋賀県農業水利施設アセットマネジメント推進協議会」(平成23年6月設立)を核としてアセットマネジメントを推進します。



お問い合わせ先

滋賀県農政水産部耕地課農業基盤管理推進室

Tel.077-528-3949 (愛知川用水・アセットマネジメント担当)

滋賀県土地改良事業団体連合会(水土里ネット滋賀)

Tel.0748-42-4806